



平成26年1月17日(金)

「トマト6次産業化応援ファンド」の設立について

- 農林漁業の6次産業化支援を目的に「トマト6次産業化応援ファンド」を設立します。
- 本ファンドの活用により、6次産業化事業体を創出し、経営支援により事業体の成長を応援します。

株式会社トマト銀行(取締役社長 中川 隆進)は、平成26年1月17日(金)、株式会社みずほ銀行、トマトリース株式会社、みずほキャピタル株式会社とともに、株式会社農林漁業成長産業化支援機構(注1)と共同して総額10億円の「トマト6次産業化応援投資事業有限責任組合」(以下、本ファンド)を設立し、農林漁業の6次産業化(注2)を支援してまいりますので、お知らせいたします。

本ファンドを通じて、「じぎん(地元の銀行)」として地域資源に関する豊富な情報とネットワークをもつトマト銀行、日本全国ならびにグローバルなネットワークをもつみずほ銀行、官民連携で6次産業化を支援する様々なツールをもつ農林漁業成長産業化支援機構の三者が連携・補完することで、地域の事業者と全国の事業者とを結び付けた合弁事業体(6次産業化事業体)を創出し、国内外の販路拡大などの経営支援により事業体の成長を応援いたします。

当社は、地域金融機関として地域の成長分野である農林漁業への支援を一層強化し、地域社会の活性化に貢献してまいります。

(注1)「株式会社農林漁業成長産業化支援機構」とは

「株式会社農林漁業成長産業化支援機構法」に基づき、農林漁業者(1次産業従事者)と、2次・3次産業の事業者との合弁事業体を支援することを目的に平成25年2月に設立された支援機関で、民間の力と知恵、国からの資金を合わせ、地域資源を活用する農林漁業の自発的な展開と地域産業とが連携した事業を支援しています。

(注2)「6次産業化」とは

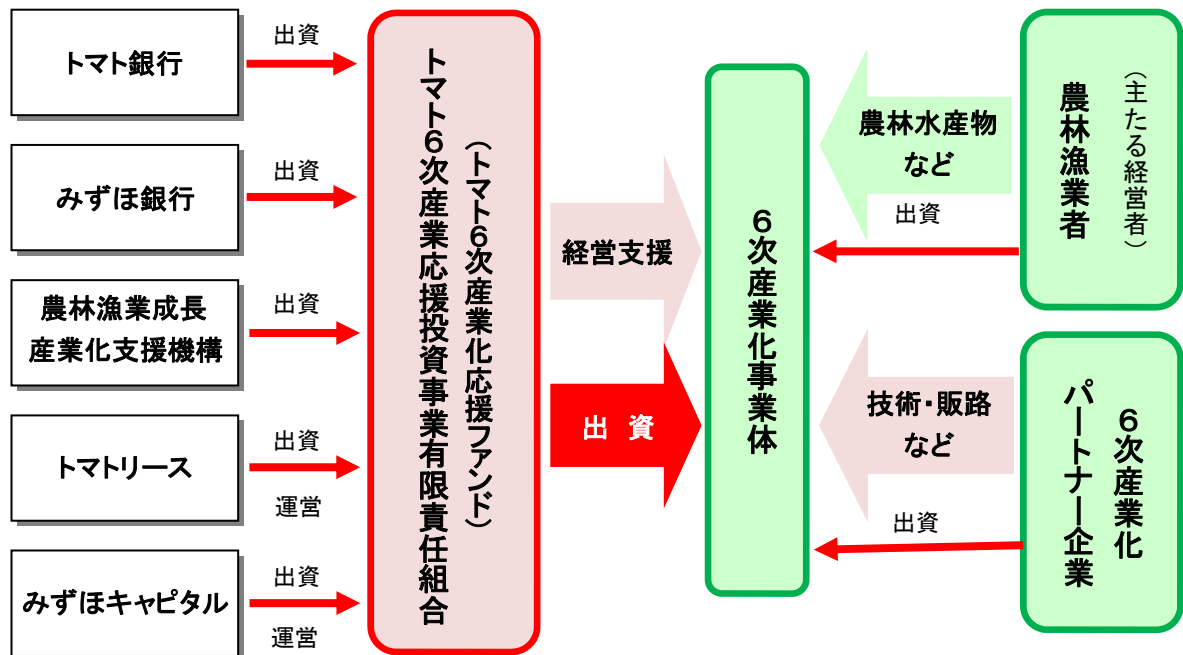
地域の豊富な地域資源(農林水産物など)を有効活用し、農林漁業者(1次産業従事者)が原材料供給者としてだけでなく、自ら連携して加工(2次産業)・流通や販売(3次産業)に取り組む経営の多角化を進め、雇用確保や所得の向上を目指す取り組みで、地域社会の活性化につながることを期待されています。

1 トマト6次産業化応援ファンドの概要

名称	トマト6次産業化応援投資事業有限責任組合 (略称:トマト6次産業化応援ファンド)	
ファンド総額	10億円	
出資者内訳	(株)農林漁業成長産業化支援機構	500百万円
	(株)トマト銀行	390百万円
	(株)みずほ銀行	100百万円
	トマトリース(株)	5百万円
	みずほキャピタル(株)	5百万円
組合契約締結日	平成26年1月17日(金)	
ファンド運営会社	トマトリース(株)、みずほキャピタル(株)	
存続期間	15年	



2 トマト6次産業化応援ファンドのスキーム図



以上

本件に関するお問い合わせ先	地域成長戦略応援部 曾田	TEL 086-800-1820
報道関係のお問い合わせ先	経営企画部(広報担当) 藤岡・俣野	TEL 086-221-1057